

すが、浅野委員もおっしゃる、わかると容易に想像がつくかと思いますが、計画をつくるのはできるんですけども、本当に単式で今やっているわけですね。複式簿記でやるということは損益と資産を、その資産の部分をどういうふうに評価するか、勘定的にどういうふうに数字を出すかというのは、これはかなり至難のわざですよ、今までやってないわけですから。ですから、今回はとりあえず、27年度で私どもとしては、県内の中では早い方だと思いますが、計画をつくって公共施設のですね、取り組んでいきたいと思いますが、ぜひ引き続きいろいろご指導をいただければというふうに思います。

○五十嵐智洋委員長 2番、浅野敏明委員。

○2番 浅野敏明委員 ありがとうございます。私も公共施設等総合管理計画にあわせて固定資産台帳を作成すべきだということではございませんので、今後の行政運営を確かなものにするためにつくっていかねばならないんじゃないかというふうに思います。情報についても、ぜひ360度回していただきまして、早目の情報を取得してほかの自治体に先駆けていろいろ施策を講じていただければと思います。

以上で質問を終わります。ありがとうございました。

○五十嵐智洋委員長 以上で通告による総括質疑は終わりました。

これから細部審査に入ります。

なお、質疑に当たっては、答弁者並びにページ数をお示しの上、お願いいたします。

## 認第1号 平成26年度長井市歳入歳出決算認定についての質疑

○五十嵐智洋委員長 それでは、認第1号 平成26年度長井市歳入歳出決算認定についての一般

会計の歳入から順次質疑を行います。

まず、認第1号の一般会計の歳入全部について質疑を行います。事項別明細書の74ページから123ページまでであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○五十嵐智洋委員長 質疑もないので、質疑を結びたいします。

次に、認第1号の一般会計の歳出について質疑を行います。

まず、1款議会費、2款総務費について質疑を行います。126ページから167ページまでであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○五十嵐智洋委員長 質疑もないので、質疑を結びたいします。

次に、3款民生費、4款衛生費について質疑を行います。166ページから205ページまでであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○五十嵐智洋委員長 質疑もないので、質疑を結びたいします。

次に、5款労働費、6款農林水産業費について質疑を行います。204ページから223ページまでであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○五十嵐智洋委員長 質疑もないので、質疑を結びたいします。

次に、7款商工費、8款土木費について質疑を行います。222ページから257ページまでであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○五十嵐智洋委員長 質疑もないので、質疑を結びたいします。

次に、9款消防費から13款予備費までの質疑を行います。256ページから309ページまでであります。ご質疑ございませんか。

11番、小関秀一委員。

○11番 小関秀一委員 273ページ、教育費の小学校費014教職員用コンピューター整備事業が行われました。成果報告書にも、いわゆる先生方の教務の簡素化というふうなことでパソコン等整備されたわけでありますけれども、これについては、大変私はいいい整備事業をしていただいたなどは思います。ただ、今、教育の現場で先生方が非常に教務に追われてなかなか子供と接する時間が少ないというふうに言われておりますけれども、長井市の場合、この成果がどのように、成果報告書では、まだまださらに検討を重ねていがんねというふうなことを書かれておりますけれども、教育長から、その実態についてどういうふうな評価があるのか、再度報告をいただければありがたいです。

○五十嵐智洋委員長 加藤芳秀教育長。

○加藤芳秀教育長 小学校だけでなく、中学校のほうにも同様に1人1台パソコンの整備をしていただきました。それによって、また、その中に校務支援ソフトを入れていただいておりますので、その部分で、例えば成績の処理でありますとか、それから、通知票の作成、あるいは指導要録とってそれを電子的に保存できるようになったということで、非常に校務の効率化という面では大変助かっております。

実は、今年度の教職員の不祥事の中にこういう校務の1人1台の支給がなされていない市町村において不適切な画像を自宅で使っているパソコンを使わなければならないという環境の中でそういう事故が起きてしまったという事案がありました。その際にも、こういう環境の調査などがまいりましたけれども、長井市においては、しっかりとしたセキュリティーがかけられているということで、そういった意味では、非常にいい環境になったなというふうに考えております。以上です。

○五十嵐智洋委員長 11番、小関秀一委員。

○11番 小関秀一委員 いろいろ学校、先生方

の不祥事もありますけれども、教育というか、子供と接する時間をなるべくうがぐしなねべというのは、私は大きな目的だというふうに思っていたわけですがけれども、実際に家さ学校の仕事を持って行って夜遅くまで仕事してんだという先生方のその話なんか聞くと、やっぱりこれはこういうシステムを入れたことによって大変気持ちにもゆとりを持っていただけるとありがたいわけだけでも、その辺、例えば今、教育長からあったように、通知票のつくり方とか、単純なそういう作業ばかりでなくて、学力さも少しでも結びつける、あと、悩みのある子供と一緒にしゃべったりというふうなことがどういうふうにその現場で行われているのか、何か教育委員会の集まりとかいろんな場面場面で報告などいただいているものかどうか伺いたいなというふうに思います。

○五十嵐智洋委員長 加藤芳秀教育長。

○加藤芳秀教育長 ICT化をこうやって進めることは、一つ大事なそういった教職員の多忙化を解消する上で非常に大事な取り組みだと思います。そういう意味では、このことをしていただいたことは大変ありがたいし、これからもその使い勝手のよさとか、そういう部分で今後も更新が伴うわけでありますので、現場の声を聞きながら、少しでも子供と向き合う時間の確保ということに意を尽くしてまいりたいというふうに思っております。

また、これだけでなく、いろんな提出物であるとか、調査物などでそういう時間が多忙化にならないようにしていかなければならないし、一番教職員が負担感を感じているのは、実はその子供たちと接するということが全然いとわなわけでありますけれども、中にはちょっと保護者対応とか、そういうことで非常に負担感を感じるという事案もございます。

なので、そこはやっぱり学校だけでいろんな家庭環境に対応するというのは非常に大変な時

代になってまいりましたので、今、国でも進めようとしているのが、チーム学校という取り組みでありますね。これは、教員だけでなく、いわゆるスクールソーシャルワーカーでありますとか、それから、スクールカウンセラー、そういった相談機能、あるいは家庭支援というそういう部分で対応していくという、そういうこととあわせて、また、地域の人との協力関係を結ぶということも、今後その地域の教育力を生かしながらみんなで子供を育てていくんだという、そういう姿にしていく必要があるかというふうに思っております。放課後の子供の過ごし方についても、学校抱え込みという形じゃなくて、もっと地域の教育力を生かしながら、それから、今、総合戦略で考えようとしている長井版のC C R Cっていうんですかね。そういう方々の教育力なども生かしながら、魅力ある教育、そして教員自身がやりがいのある、そして子供たちとしっかり向き合える、そういった教育環境をつくってまいりたい、そういうふうに思っております。

○五十嵐智洋委員長 11番、小関秀一委員。

○11番 小関秀一委員 ありがとうございます。

あと、プラスアルファして、最近知事から、学力テストの問題、これは全国各県のあれです課題になっておる。このコンピューターシステムの導入事業とは直接はかかわらないというふうに思いますけれども、先生方の時間のゆとりと子供らの学力というのは、非常に少し関連もある部分もあるのかなというふうに思いますが、今般の知事からの各市町村に対しての学力テストの公表についての問い合わせ等があったのかどうか、最後にお尋ねをいたします。

○五十嵐智洋委員長 加藤芳秀教育長。

○加藤芳秀教育長 学力テストの公表については、事前に県からの確認というんですか、文科省のほうからの調査もございました。長井市としては、他市町と同様に、点数のひとり歩きしてい

うんですかね、そういうものの弊害のほうが大きいということで、従来どおり学習状況の公表について各学校で丁寧に行っていくというふうなスタンスで回答しております。今年度も同様に考えております。

全国学習状況調査の結果については、その学年ですね、6年生と中学3年という、その切り取った部分の評価でございまして、また、一部の問題実数で言うと15問の正答率というところで見ていくわけでありまして、その中でその傾向の問題が解けたか解けなかったか、どういう状況であるのかということ进行分析して、その学校その学校でそれを授業にどういうふうにかかしていくかということが問題なんだろうと。あるいは、市全体としての取り組みとして、そういう授業改善に結びつけていく、あるいは、その後の学習状況の改善にかかしていくことのほうがずっと大事なのかなというふうに思っております。

現在、市の状況といたしましては、今年度の結果を見て、一番私よかったなというふうに思っているのは、子供たちの意欲ですね、学習に対する意欲、そのところが県あるいは全国を非常に上回っておりました。つまり、国語が好きだ、算数が好きだという子供たちがしっかり育っていると。これは一番うれしいことだなというふうに思っております。ただ、問題の傾向によって、いわゆるA問題というのは基礎的なドリルではかれるような問題。それから、B問題というのは、思考力とか判断力、それから表現力っていうんですかね、そういうものも含めたような問題ですね。そういう問題に対して若干以前からの算数においてはその部分が弱いなということがありましたので、授業の中でそういった問題に対してしっかりと答えられる子供たちにしていかなければということで、校長先生たちとも話ししているところでございます。

○五十嵐智洋委員長 ほかにございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○五十嵐智洋委員長 ほかに質疑もないので、質疑を終結いたします。

次に、認第1号の国民健康保険特別会計歳入歳出決算について質疑を行います。312ページから337ページまでであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○五十嵐智洋委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

次に、認第1号の公共下水道事業特別会計歳入歳出決算について質疑を行います。340ページから349ページまでであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○五十嵐智洋委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

次に、認第1号の山形鉄道運営助成事業特別会計歳入歳出決算について質疑を行います。352ページから355ページまでであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○五十嵐智洋委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

次に、認第1号の農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算について質疑を行います。358ページから365ページまでであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○五十嵐智洋委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

次に、認第1号の訪問看護事業特別会計歳入歳出決算について質疑を行います。368ページから371ページまでであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○五十嵐智洋委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

次に、認第1号の介護保険特別会計歳入歳出決算について質疑を行います。374ページから395ページまでであります。ご質疑ございませんか。

6番、鈴木富美子委員。

○6番 鈴木富美子委員 395ページですが、上の段になります。認知症初期集中支援事業委託料ということで取り上げておりましたが、どのような検査をなさっているのか、福祉あんしん課長にお伺いしたいと思います。

○五十嵐智洋委員長 佐藤 隆福祉あんしん課長。

○佐藤 隆福祉あんしん課長 お答えいたします。

認知症初期集中支援事業の委託料でございますが、吉川記念病院のほうに委託をしてる事業でございますが、認知症の初期の段階でそれらの方々の専門的なスタッフの方に集まっていたきながら多方面から支援をするというふうなことで、それから先の介護に、家族の皆様方の支援に結びつけていくというふうな初期段階の支援でございます。以上でございます。

○五十嵐智洋委員長 6番、鈴木富美子委員。

○6番 鈴木富美子委員 初期よりも初期になる前の予防のような支援事業は市のほうでは行っているのでしょうか。

○五十嵐智洋委員長 佐藤 隆福祉あんしん課長。

○佐藤 隆福祉あんしん課長 介護予防といたしましては、1次予防と2次予防がございまして、1次予防と言われるところにつきましては、まずは、要支援というふうに言われるところの介護になる前でございますが、そういった病弱であったり、それから、機能が低下してきている、運動機能が低下しているような方々に対して支援をするというものでございます。例えば、社会福祉協議会でやっておりますサロン事業であるとか、それから、ミニデイサービスといったものがそれに当たるかと思っております。それから、2次予防に対しましては、要介護状態にならないようにというふうなことで支援をしてるとこ

ろでございますが、例えば、運動機能向上というふうなことで2次予防対象のケアマネジメント事業がございますし、それから、介護予防教室というふうなことで、足腰若返り教室、元気はつらつ教室、元気アップ教室等々ございます。それから、慈光園のリハビリ教室、そういったものがございます。そのほかに、栄養バランス教室、さわやか健口教室等々、それから、これにつきましては、大体3カ月ぐらいで一つの周期として行うわけなんです、その教室を終えられた方に対するフォローアップ教室というふうなことで支援をしてるところでございます。以上でございます。

○五十嵐智洋委員長 6番、鈴木富美子委員。

○6番 鈴木富美子委員 いろいろな施策を練っていただきましてありがとうございます。ですが、どうしても健康というか、体のほうが主に私は多いように感じられますので、どうしても家族としては認知を早く発見したいということで、そちらのほうにも、ぜひ認知症を受けるような、家族で検査に行っていきたいというふうな施策もっていただきたいと思います。以上です。

○五十嵐智洋委員長 答弁は要りませんか。

○6番 鈴木富美子委員 その点につきまして、よろしくをお願いします。

○五十嵐智洋委員長 佐藤 隆福祉あんしん課長。

○佐藤 隆福祉あんしん課長 お答えいたします。

そちらにつきましては、例えば、サロンというふうなことでことしから始めてる事業があるわけなんです、茶話会のような形でやっている事業もございますので、それと、総合相談事業というふうな形で地域包括支援センターのところで随時相談を受けているというふうなところでございます。そのほかに、包括支援センターのほかに地域支援センターが2カ所ございますので、そちらのほうでも受けているというふうなところでございます。以上でございます。

○五十嵐智洋委員長 ほかにございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○五十嵐智洋委員長 ほかに質疑もないので、質疑を終結いたします。

次に、認第1号の浄化槽事業特別会計歳入歳出決算について質疑を行います。398ページから405ページまでであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○五十嵐智洋委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

次に、認第1号の後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について質疑を行います。408ページから415ページまでであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○五十嵐智洋委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

次に、認第1号の宅地開発事業特別会計歳入歳出決算について質疑を行います。418ページから423ページまでであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○五十嵐智洋委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

以上で認第1号の質疑を終結いたします。

## 認第2号 平成26年度長井市水道事業会計決算認定についての質疑

○五十嵐智洋委員長 次に、認第2号 平成26年度長井市水道事業会計決算認定についての1件について質疑を行います。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○五十嵐智洋委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

## 平成26年度各会計決算認定についての表決

○五十嵐智洋委員長 これから討論、表決であります。ご意見のある方は本会議においてご発言いただくこととし、この際、討論を省略し、直ちに採決いたします。

まず、認第1号 平成26年度長井市歳入歳出決算認定についての1件について採決をいたします。

認第1号について、認定することに賛成の委員の起立を求めます。

(起立多数)

○五十嵐智洋委員長 起立多数であります。

よって、認第1号は、認定すべきものと決定いたしました。

次に、認第2号 平成26年度長井市水道事業会計決算認定についての1件について採決いたします。

認第2号について、認定することに賛成の委員の起立を求めます。

(起立全員)

○五十嵐智洋委員長 起立全員であります。

よって、認第2号は、認定すべきものと決定いたしました。

以上で決算特別委員会に付託になりました案件の審査は全部終了いたしました。

最後に、お諮りいたします。

本委員会において議決されました議案の中で、条項、字句、数字、その他、整理を要するものについては、会議規則第120条の規定により、その整理を委員長に一任願いたいと思っておりますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○五十嵐智洋委員長 ご異議なしと認めます。

よって、整理を要するものについては、その整理を委員長に一任することに決定いたしました。

また、来る29日の本会議における本委員会審査報告の文案につきましても、私に一任くださるようお願いいたします。

## 閉 会

○五十嵐智洋委員長 決算特別委員会は、これをもって閉会いたします。ご協力ありがとうございました。

午後 4時45分 閉会

会議録署名

委員長 五十嵐 智 洋